

フブ・服部の中国通信

フームもひと段落、と言ったところでしょうか？

7月末に配信が始まり、大変な話題となったポケモンGO。約一ヶ月が経ち、フームもひと段落、と言ったところでしょうか？ 一歩外に出ればいたるところにスマートフォンを片手に何やら画面に夢中になっている方を見かけるような状況はいったん落ち着いたように思います。

とは言え、ポケモンGOの名所、と呼ばれるところに行けばまだまだ物凄い人がスマートフォンを片手にポケモンと格闘しています。世界的にも似たようなもので「猫も杓子もポケモンGO」ではなくなったものの依然相当数の「ポケモントレーナー」が存在する世界的ヒットとなったと言って過言ではないでしょう。

ですがこのゲーム、中国では「正式には」配信されていません。と言うのも開発、販売を米ゲーム会社が手掛けていることもあって「**米国は様々な場所にモンスターを配置し、ユーザーの捕獲状況を元に一般人が入れない区域を分析、これにより中国の軍関連施設の場所をある程度突き止めることができる**」というような論調が中国の軍部やネットユーザーから挙がったこと、またこのゲームの肝ともいべき位置情報が米グーグルのグーグルマップをベースに作られていることから中国当局の「**検閲**」を通らなかったのではないかと、というような説が挙がっています。

「正式には」と申し上げたのは、中国のネットを調べてみると抜け道があるようなのです(아이폰がやりやすいようです)。具体的なやり方まで紹介されていますが正直かなりの抜け道的な方法で、電子機器に関する一定の知識が必要です。「このあたりの設定を、内容を理解していない人間が触って大丈夫か?」という類のもので、それ以前に私なら「何か面倒そう」でやらないでしょうね(笑)

では、私のようにさほど知識もなく、面倒くさがりな人間はどうすればよいでしょうか?

ご安心ください。中国です。~~パタリ~~ポケモンGOに発想を借ったゲームが既に存在します。その名も「山海経GO」!!



こ、これは・・・完全に絵、被せてますやん!

と思わず突っ込んでしまう出来です。しかも写真右が出てくる妖怪らしいのですが何とも・・・可愛くない!(笑)

とはいえ、ここまで完全に中身をすけ変えてしまえる技術力は大したもの。

こんなのをよく作ったものです。

また、もう少し可愛らしい「中国オリジナルの」キャラクターを使ったゲームも開発中だそうですよ。



↑「捕妖記G0」開発中の画面だそうです。多少は、あくまで山海経G0と比べれば可愛い・・・ですよ(笑)

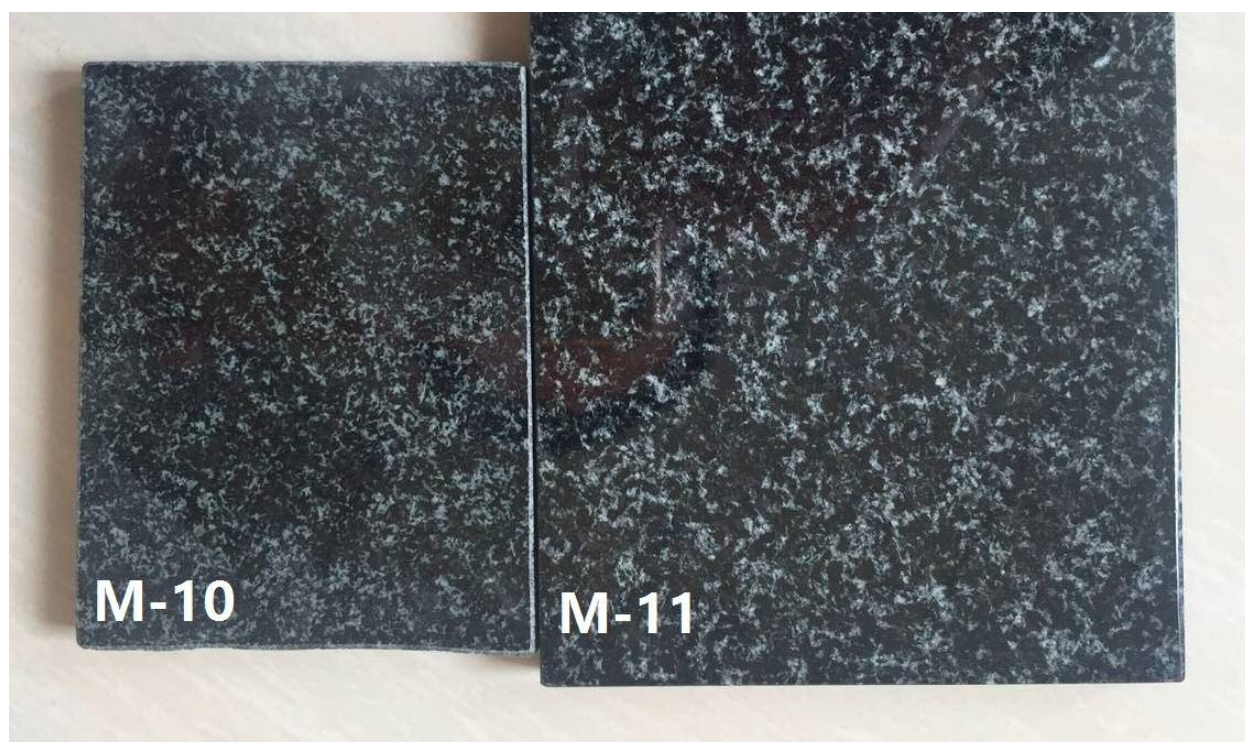
「M-10」あまり安いものにはご注意ください。

少し真面目なお話です。現在、崇武界限で少々おかしい現象が起きています。原石価格が大幅に値上がりしだしたM-10を、より値段を下げて見積りする工場がちらほらと見られるのです。

どういうことでしょうか??

勿論私も工場の企業努力というものを否定するわけではありませんが、原石原価や加工賃の基準を知っているともう少し意地の悪い見方をしてしまいます。そして、実際に出回っている「格安M-10」の一つの答えと思われる

ものがこれです。



写真右側の石、M-11と言い、原石商社が不良在庫として長年抱えていた石なのですが、これを処分価格でものすごく安く流しているというのです。私の掴んでいる情報では、値下げしてもおつりがくるぐらいの原石価格です。そして作り立ての商品はM-10にありがちな軽微なムラもなくとても綺麗だというのです。

ではなぜ、こんなにも良い石が今まで売れなかったのか。理由は一つです。建立後に粉を噴き、磨き面がボロボロになったものがあったからです。

建立後に石質問題が出るというリスクは、工場はもちろん、卸業者、石材店様も最も恐れられるところかと思えます。もちろん弊社ではこのような石はいかに安かろうとお勧めしておりません。

それでもなおこのような石を使用する悪質な業者が出ているというのは嘆か

わしいことですが、工場、原石商社ともにとても苦しいのだな、というのがひしひしと伝わってくるニュースです。

先ほども述べましたが、私も工場の純粋な企業努力を否定するものではありません。ただし、「M-10 特別単価です！」というようなうたい文句には少々警戒し、慎重に調査された後のご注文というのを私の立場ではお勧めしたいところです。

それでは今月はこのあたりで。来月は弊社新人営業マンの武島を紹介させていただきたいと思っております。イキの良い子が入りました！

また来月お会いしましょう。再見。

2016年9月1日 服部